

宮本百合子文学碑

～それぞれの碑を、訪ねてみましょう～

みやもとゆりこ

宮本百合子

東京小石川区（現・文京区）出身

百合子の祖父は、「開拓の父」と呼ばれ、安積開拓に心血を注いだ中條政恒である。祖父の開拓による近代化が、社会を発展させる一方で、貧しい人々を多く生み出している矛盾に気付き、ヒューマンズムの立場から解決法を追い求めた。



1966年建立

中條邸跡

古川氏宅の向側
開成2丁目37

1976年建立

処女作

「貧しき人々の群」
の一節

郡山市



開成1-5

開成山公園敷地内

開成山を背景に『お久美さんと其の周囲』・
ねぎさまみやた
『禰宜様宮田』・『三郎爺』などの作品を描いた。

碑文

どうぞ憎まないでくれ 私はきっと今に何か捕まえる
どんなに小さいものでもお互いに喜ぶことの
出きるものを見つける どうぞそれまで待っていてくれ
達者で働いてくれ！私の悲しい親友よ！
私は泣きながらも勉強する。一勝懸命に励む
そして今死のうというときにでもよいから、
ほんとうに打ちとけた、心置かない私とお前達がほほえみあうことが
出来たらどんなに嬉しかろう！どんなにお天道様はおよろこびなされるか！
私の大好きな私を育ててくださるお天道様はどんなに
「よしよし」といってくださるか！

開成山公園内

野球場

五十湖

宮本百合子文学碑

サブトラック

福島市

1989年建立

あすの空に
伸びゆく芽生
いま萌えて

あたごやま

愛宕山公園 山路途中
飯坂町湯野目暗瀬字愛宕3番地

百合子生誕90周年を記念

ねぎさまみやた

『禰宜様宮田』という作品は、開成山に滞在していた百合子が、祖母といっしょに福島
飯坂温泉を訪れた時のことがモデルとなっている。

兵庫県

抑揚の野

姫路市岡町
城の西公民館前

「播州平野」より

この他に文学碑がありましたら、ぜひ文学の森資料館に情報をお寄せください。